

慶應義塾大学 湘南藤沢国際学生寮

Keio University Shonan Fujisawa International Dormitory

No. 18-019-2021作成

新築

学校（寄宿舎）

発注者	西松建設株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	西松建設株式会社一級建築士事務所		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	西松建設株式会社関東建築支社		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

さまざまな「コミュニケーション」を創出し、グローバルなトッリーダーを育む国際学生寮

概要

慶應義塾大学湘南藤沢国際学生寮は、国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため文部科学省が創設した「スーパーグローバル大学創生支援事業」の「トップ型」に採択された同大学が国内外の学生を受け入れ、学生寮としての機能と国際交流の場としての機能を併せ持つ、グローバル人材を育むことを実現する施設である。本寮は全室個室の計109室で構成される。



航空写真

外観（南西）

外観（南面）

外装計画

外観の顔となるコンクリートで造られた縦ラインの飾り柱はすっきりと洗練された印象を作り出し、湘南藤沢キャンパスと湘南台の自然との調和を図る。縦ラインの長さの変化により、街の風景にリズムを創出、外壁のタイルは凹凸のあるものを選定することによって、一日の太陽の動きに沿って豊かな表情を感じることができる。



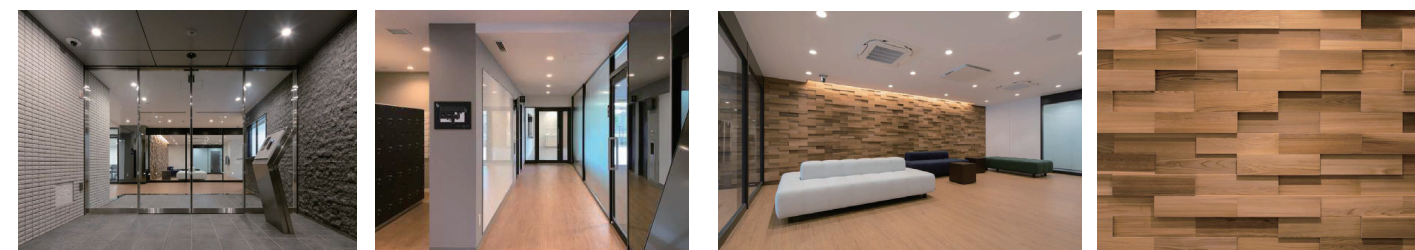
外観詳細（南面）

夕景の外観（南面）

内装計画

グレーとネイビーを基調とした仕上げとして、性別を問わずに使いやすいデザインを計画する。ポイントのブラックは落ち着きのある上品な印象を与える。

エントランスホールの木壁にはレッドシダー（ヒノキ材）を使用、無垢の木材の風合い、香り、肌さわりが感じられ、木の温もりのある空間を演出する。



風除室

1階廊下

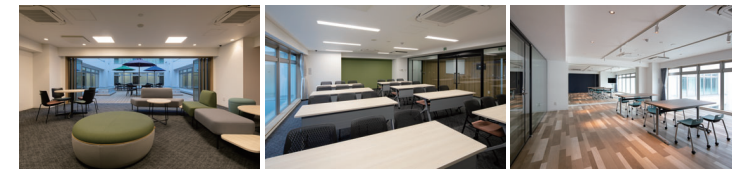
エントランスホール

レッドシダー

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価		
所在地	神奈川県藤沢市	BEI		0.60
竣工年	2021年	LCCO ₂ 削減		25%
敷地面積	1,971m ²	BELS		★★★★★
延床面積	3,019m ²	ZEH-M Oriented		
構造	RC造			
階数	地上4階			

コミュニケーションを促す空間

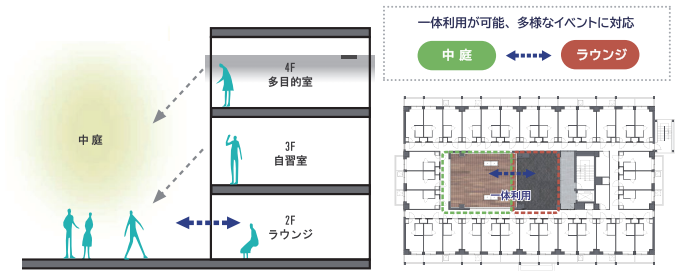
共用部には学生同士の交流ができるスペースを設けることにより、生活に溶け込む自然的な国際交流を図る。



2Fラウンジ

3F自習室

4F多目的室



安全・安心の住居環境

キーセキュリティシステムにより異性の侵入防止を図り、女子学生に安全な住居を確保する。

最新技術を搭載した顔認証システムにより外部からの侵入を防止する。

防災備蓄倉庫を確保、災害時に備える。（スチールラックによる倒れ防止対策）



環境・省エネへの配慮

屋上に太陽光発電、太陽熱温水器を設置、日常で自然エネルギーによる電力を供給し、消費電力の低減と自然環境への配慮を図る。

屋上に設置された光ダクトによって、内側の反射された自然光が廊下に運び込まれ、明るさと自然エネルギーの効率を向上する。

環境性能評価「CASBEE」のAランクを取得、省エネルギー性能評価「BELS評価」ではZEH-M Orientedを取得。



吹抜けを中心とした回廊型の廊下配置を計画、できる限り自然光を多く取り入れ、明るい共用部となるようにする。

屋外側にアルミ、屋内側に樹脂を使用したサッシは断熱性能が高く、空調の熱負荷低減の効果も期待できる。

節電運転、不在時の節電運転等の消費電力を抑えられる機能のある製品を選定する。



設計担当者

統括：芦沢大介/廣瀬智之 建築：江崎陽介、関本容子 構造：塚田政美/高橋朋幹
設備：森田直弘/吉本久志/中村裕貴/海保光平

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- LR1. 1. 建築外皮の熱負荷抑制（Low-Eガラス、アルミ樹脂複合サッシ）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（太陽光発電、太陽熱給湯器、LED照明、トップライト、光ダクト）
- LR2. 2. 非再生資源の使用量低減（無垢の木材利用）
- LR3. 2. 地球環境への配慮（LCCO₂削減）